

議事録【要点筆記】

会議名称	令和7年度 第4回 米沢市総合教育会議
開催日時	令和8年1月7日(水) 午前9時～午前10時15分
開催場所	置賜総合文化センター 4階 教育委員室
出席者	米沢市長 近藤 洋介 米沢市教育委員会教育長 佐藤 哲 米沢市教育委員会 委員 神尾 正俊 米沢市教育委員会 委員 我妻 仁 米沢市教育委員会 委員 渡邊美智子 米沢市教育委員会 委員 伊藤 綾子
事務局出席者	教育管理部長、教育指導部長、教育総務課長、社会教育文化課長、社会教育文化課主幹兼課長補佐、スポーツ課長、学校教育課長、適正規模・適正配置推進主幹、教育総務課長補佐兼総務主査、教育総務課上席専門員、教育総務課主任(総務担当)
市長部局出席者	総務部長
会議次第	1 開会 2 市長あいさつ 3 会議の公開又は非公開、議事録の作成 4 協議 (1) 米沢市立東成中学校の開校延期について (2) その他 5 閉会
会議資料	・次第 ・出席者名簿 ・会場レイアウト ・東成中学校開校に伴う第一中学校の改修案比較表
会議内容	
<p>【1 開会】 省略</p> <p>【2 市長あいさつ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本市の教育行政も歴史的な学校再編、そして給食センターの完成など、ここ1、2年で山場を迎える状況と認識している。 子ども達を良い人材に育てることが、私たちの地域経営にとって極めて重要な使命であり、そのような観点から様々な施策を展開していきたい。 本市教育の骨格として、これまで策定を進めてきた教育振興基本計画も、これからパブリック・コメントを実施するということで、そのような流れの中、委員の皆様にご意見を伺いたい案件があり、本日は御参集いただいた。 	

- ・その案件とは、後にあらためて説明するが、令和11年度に予定している東成中学校の開校の延期とそれに併せた教育環境の整備についてである。
- ・気候変動による熱中症対策が大きな課題になっていることに加え、クマ対策など5年前には考えられなかったようなことが次々と起きている。
- ・ここ数年来の物価高騰や資材の高騰など、社会が大きく変動していることに合わせて、適宜、適切な投資を進めていかなければならない。
- ・教育に対する投資を進めるという基本路線は変わることはないが、財政的な制約が前提としてある中において、優先順位を見極めながら投資していくことが必要である。
- ・次の世代に対し、本市を健全な財政状況で引き渡していくことは、極めて重要なことと考えている。
- ・後に説明することは、良い意味で本市の教育環境を改善し、向上させるという一点での判断であるので、御理解をいただくとともに、今後の展開について率直な御意見をいただければありがたい。

【3 会議の公開又は非公開、議事録の作成】

協議事項が政策協議に関わる事案であり、今後、市議会や児童生徒の保護者を含めた市民への説明を予定していることから、会議は非公開とすること、及び議事録は要点筆記、発言者名は役職名のみでの記載により作成し、構成員による確認後、時機を見て本市ホームページ上で公表することを確認した。

【4 協議】

(1) 米沢市立東成中学校の開校延期について

市長

- ・協議事項(1)の「米沢市立東成中学校の開校延期」に関して、本日、委員の皆様にご説明することになった経緯をお話したい。
- ・東成中学校は、第五中学校と統合した現在の第一中学校と第七中学校が統合し、令和11年度に開校する予定であった。
- ・しかしながら、開校予定の令和11年度時点において、特別支援学級の増加等の理由により、教室数が五つ不足することが判明した。
- ・この想定外の事態に対応するため、第一中学校校舎の内部改修に加え、それでも不足する3教室を確保するための校舎増築工事が必要となった。
- ・その経費として、約10億5,400万円という予算が必要となった。
- ・一方、国においては、昨今の夏季の異常な暑さに対応するため、一昨年、公立小中学校等における屋内運動場の空調設備設置率を、2035年度までに95%にするという大きな目標を掲げ、これを実現するための施策として、公立小中学校等の屋内運動場への空調設備設置を対象とした補助制度を新たに創設した。
- ・この補助制度は、交付期限を令和15年度としていることもあり、この期間中に交付金を活用し、屋内運動場に空調設備を設置する自治体が増えてきた。
- ・このような状況から、市議会から再三にわたり「屋内運動場に空調設備を設置しないのか。」という御指摘を受けてきた。

- ・本市においては、県の補助金を活用し、その補助対象となる中学校の屋内運動場へのスポットクーラー設置を実施するとともに、本市独自の熱中症対策として、小学校の屋内運動場にもスポットクーラーを設置した。
- ・その他、民間事業者と連携しながら、顔解析技術により熱中症リスクを可視化する「カオカラ」や気象IOTセンサー「ソラテナPro」を導入するなど、先進的な熱中症対策に取り組んできたが、屋内運動場への空調設備の設置については出遅れてきた。
- ・現在、建築工事が進んでいる南成中学校の総事業費が約80億円と巨額なものとなった。これは、基本計画時に見込んでいた60億円から20億円上振れしていることになる。
- ・加えて、学校給食センターの整備や北成中学校、広井郷小学校の改修費用などを考えると、ここ数年の本市教育への投資額は、相当巨額なものになっているのが現実である。
- ・第七中学校との統合に伴う第一中学校の改修については、一時的に教室の数を増やしても、数年後には生徒数の減少により不要となる教室が発生する見込みであり、厳しい財政状況の中、数年後に不要となる施設の整備に対して、投資すべきなのか考える必要がある。
- ・令和8年10月から、部活動の地域展開が本格的にスタートすることとなり、中学校屋内運動場への空調設備の設置は極めて重要となる。
- ・以上のことから、総合的に考えた結果、第一中学校と第七中学校の統合という方向は方向としつつも、その時期を延期させていただき、校舎増築への投資を控えた分、その予算を中学校屋内運動場への空調設備設置に活用させていただきたい。
- ・このことは結果として、本市の教育環境の向上につながることから、市民の皆様の御理解も得られると思う。
- ・本日配付の資料は、これまで市長事務部局と教育委員会との間で、望ましい統合時期を検討するため作成したものであり、統合年度を多面的に評価した結果が記載されているが、これらの結果から判断し、令和14年度に統合、東成中学校開校とさせていただきたい。
- ・併せて、来年度から第一中学校、南成中学校、北成中学校及び第七中学校の四つの中学校の屋内運動場への空調設備設置を進め、遅くとも令和10年度には設置を完了したい。
- ・教育現場からの御要望が多く、全国的な整備状況から出遅れている特別教室への空調設備の設置についても検討に入りたい。
- ・数年後に不要となる教室を増設するよりは、喫緊の課題である屋内運動場への空調設備の設置を進め、教育環境の充実を図ることの方が、現時点での優先度が高いと判断した。
- ・私もこれまで「子育て・教育環境を県内最高水準に引き上げる」ということを訴え続けてきたことから、教育環境への設備投資として、より優先度の高い事業実施のため、東成中学校の開校を延期させていただきたいと考えたところである。

教育長

- ・先ほど、市長から第七中学校との統合に伴う、第一中学校の改修費用が10億5,400万円必要とのお話があったが、これは校舎の増築分のみの金額ではないので、教育総務課長から説明させていただいてよいか。

市長

- ・あらためて配付資料の説明をお願いしたい。

教育総務課長

- ・お手元に配付させていただいた資料について、あらためて説明させていただく。
- ・配付資料は、先ほど、市長からお話があったとおり、統合延期ということを内部で協議するにあたって作成した資料である。
- ・資料記載の表の一番左に基準として囲んでいるのが、計画どおり令和11年度に統合した場合の内容であり、施設整備に要する金額の合計額として、先ほどの10億5,400万円との記載があるが、この金額は、合計欄の上に記載の増築工事、内部改修工事、長寿命化工事、空調工事及び外構工事の合計額である。
- ・統合年度を協議するうえで、その材料となる項目として、第七中学校の人員面と施設整備面、そして先ほどの経費やその財源の内訳を記載している。
- ・表の下部に年度ごとの評価を記載しているが、総合評価の結果から東成中学校の開校を延期するのであれば、◎評価の令和13年度の統合が望ましいと考えたが、第一中学校の改修工事等のスケジュールを考慮した場合、令和14年度が最適、最善な時期であるということで、現在、検討しているところである。

市長

- ・あらためて、委員の皆様から御意見、御質問があればお願いしたい。

委員

- ・東成中学校の開校を3年延期することについて、市長からその理由をお聞きしたが、教育委員会としては、これまで市立学校適正規模・適正配置等基本計画に従って、小中学校の統合を進めてきた。
- ・第一中学校と第七中学校の統合による東成中学校の開校についても、粛々と準備を進めていく段階に入ってきた中、統合が3年間延期されるというお話をお聞きし、正直、戸惑っている。
- ・統合を延期する理由として、中学校屋内運動場への空調設備の設置を優先したいとのことであった。また、特別教室への空調設備設置も視野に入れてというお話をお聞きし、その理由、必要性には納得できる部分もあった。
- ・開校年度の延期で危惧されるのは、これまで説明会等の開催により、統合について御理解をいただいていた第七中学校区の地域の方々や生徒の保護者から、開校延期について御理解をいただけるかということである。
- ・また、市立学校適正規模・適正配置等基本計画は、様々な側面、観点から検討委員会で協議をいただき策定したものであり、計画策定に御尽力をいただいた検討委員会の委員の方々にも、開校延期について説明したうえで、計画見直しについて検討いただくことも大事なことかと思っている。
- ・市長から、学校現場からの要望が多い特別教室への空調設備設置についても検討するとのお話があったが、もしも、それに着手するというのであれば、屋内運動場と同様、令和10年度の設置完了を目指すのかどうか伺いたい。

委員

- ・東成中学校の開校延期のお話を聞いたときは、先ほどの意見と同様、戸惑いとともにごう

して延期をしなくてはならないのかという疑問が生じたが、市長から屋内運動場や特別教室への空調設備設置を優先したいという理由をお聞きし、喫緊の課題として対応が必要なことは理解できた。

- ・しかしながら、不安とともに東成中学校への入学に期待をしていた子ども達に対し、設備面、又は財政面からの延期という理由を正直に説明した時に、「自分達は、自分達の気持ちは大切にされているのか。」という思いから、開校延期を受け入れてもらえるのか心配である。
- ・確かに、地球規模の環境変化による熱中症予防への対応等により、教育に関する予算は見直す必要はあるが、開校延期による子ども達の自己肯定感や地域への愛着といったところへの影響が心配される。
- ・配付資料に施設設備面でのメリット、デメリットは記載されているが、それ以外で開校を延期した場合の目に見えないメリットやデメリットはないか。あればお聞きしたい。

委員

- ・市長から、今回の開校延期の背景や現状の課題等をお話いただいたので、おおよその全体像は理解した。
- ・財政的なことを離れば、当初の計画どおり、令和11年度の開校ということで進めていただきたいというのが個人的な希望であるが、確かに財政の状況を鑑み、投資に当たって優先順位を付けていくことも大事なことなので、開校を令和14年度に延期することもやむを得ないと思う。
- ・優先したいとされた屋内運動場への空調設備設置であるが、屋内運動場は、学校活動以外でも災害発生時の避難所としての活用もあり得るので、空調設備を設置することは重要だとは思いますが、スポットクーラーの設置により、夏季間の活動に大きな効果があったという話も聞いているので、従来から課題となっていた理科室等の特別教室への空調設備設置を優先していただきたいというのが個人的な希望である。
- ・開校延期により一番心配されるのが、第七中学校と他の中学校との教育環境の格差である。
- ・令和8年度に南成中学校と北成中学校が開校することで、小規模校は第七中学校のみとなる。
- ・当初の計画では第七中学校が第一中学校と統合するのは令和11年度であった。この時点での第七中学校の生徒数は約170人であり、各学年2クラスとなっているが、3年後の令和14年度になると生徒数が約140人まで減少することになる。
- ・市立学校適正規模・適正配置等基本計画の目的は、ある程度の学校規模を確保し、教員体制も整備、充実させることで、より良い教育環境を児童生徒に提供し、子ども達が充実した学校生活を送れるようにすることであったはずである。
- ・第一中学校との統合が3年延びることにより、6年間、第七中学校の生徒だけが一学年2クラスの小規模校で学校生活を送ることになり、大規模校として充実した教育環境の中で学校生活を送ることができる他の3校の生徒との間に、格差が生じることが懸念される。
- ・開校の延期はやむを得ないとしても、小規模校の課題の一つとして挙げられる教員数不足

といったところに本市独自で加配するなど、6年間、小規模が維持されることでデメリットを受ける第七中学校の子ども達の支援について、何か手立てを講じてほしい。

委員

- ・私の子が、第一中学校と第七中学校の統合の時に、東成中学校に入学する時期に当たっており、子ども達の心理面を考えると、開校延期をどのように受け止めるのかが心配である。
- ・中学校の統合については、これまで教育委員会をはじめ、学校現場や関係者の方々が長期的な視点で検討を積み重ねてきたものであり、教育環境の改善や適正な学校規模の確保という意味からも重要な取組であると考えている。
- ・統合の実施時期を変更するという事は、少なからず生徒や保護者、教職員に影響を及ぼすことだと思うので、それらの方々に対する丁寧な説明が必要であると思う。
- ・第一中学校との統合を楽しみにしていた第七中学校の生徒への支援など、慎重な配慮も必要になるのではないかと思った。
- ・学校施設への空調設備の設置は、生徒や市民の安全・安心を重視された意義のある提案であると思うので、屋内運動場だけではなく、これまで要望のあった特別教室への設置も検討いただければありがたい。

市長

- ・特別教室への空調設備の設置を望む意見があったが、市議会からの強い要望は無視できないものであるし、部活動の地域展開ということを考えても、まずは、屋内運動場への設置を優先すべきと考える。
- ・屋内運動場への空調設備設置については、国の方針として示されているものであり、国の補助制度の活用ということを考えても、それが時限的であるが故に、今、整備に着手しなければできなくなってしまうということになる。
- ・特別教室への空調設備設置については、この場で断言することはできないが、東成中学校の開校を延期させていただいたうえで具体的な検討に入り、予算編成過程の中で俎上に挙げさせていただき、査定をさせていただくことになる。
- ・私としては、教育環境の整備への投資を考えたときに、今、やらなければならないことにスピード感を持って取り組むことが必要であり、それは、東成中学校の開校を延期しても、すべての中学校の屋内運動場に空調設備を設置することであると考えている。
- ・このことは、本市の子ども達にとって、間違いなくプラスになるとの判断から提案させていただいた。
- ・東成中学校の開校延期による、第七中学校としての目に見えないメリット、デメリットという御質問があったが、あえてメリットを申し上げれば通学である。
- ・第七中学校が第一中学校と統合した場合、万世地区の生徒はバスで通学することになると思われるが、現実的にはかなりの遠距離通学となる。
- ・この遠距離通学に関して、未だ、地域の皆様に戸惑いがあるのは事実である。
- ・加えて、万世地区においては、最近、クマの出没が相次いでおり、このような状況を鑑みて、第一中学校への通学に対する不安は高まっている。
- ・デメリットは、委員から御意見のあった「小規模校として存続することの課題」というこ

とになる。

- ・小規模校として第七中学校が不利益を受けることがないよう、丁寧な説明と十分な支援が必要であると思う。
- ・私も市長という立場から、様々な場面で保護者の方々等と密に議論をさせていただいたが、この統合に関しては、率直に言って「大賛成である。」という方は、あまり多くないと感じている。
- ・むしろ統合することに戸惑いを持っている地域の方々も多くいらっしゃるという事実もあるので、もう少し時間をかけて統合への理解を得ることも必要なのではないかと思う。
- ・そういった意味でも、3年延期という猶予期間を活用することによって、丁寧な統合に向け、地域の方々の理解を得ることができるのではないか。
- ・第一中学校の皆さんが「第七中学校の生徒と一緒にいることを楽しみにしている。」ということもあると思うが、第七中学校区の方々に「東成中学校区になることに対する理解を得る時間ができた。」と前向きに捉えることもできるのではないか。
- ・統合の方向は方向として堅持しつつ、本市教育の全体のことを考え、空調設備設置を前に進めることを御理解いただけるよう説明していかなければならないし、生徒にも、教育現場の方々にも喜ばれるのではないかと考えている。
- ・小規模校への特別な配慮ということについては、御意見として受け止めさせていただき、教育委員会から提案があれば対応しなければいけない課題かもしれない。

委員

- ・小規模校である第七中学校の生徒が、これからますます減っていくと、教科担任が配置されない、教員の数が少ないなどの理由により、自主勉強になってしまうなど、大規模校とは異なった学校生活を送らざるを得なくなる可能性が高くなるので、この課題をどのような形で解決できるのか研究していかなければならない。
- ・開校延期によって、小規模校である第七中学校がますます小規模化する中であって、子ども達が、他の中学校の子ども達と同じような教育体制の中で勉強ができるよう配慮いただきたい。

市長

- ・本市の全国学力・学習状況調査の成績は、率直に言って決して良いものではない。
- ・本市の子ども達の学力については、私としても課題であるという認識を持っており、全体の底上げを図らなければならない。
- ・そのようなことから、本市の学校全体の教育環境改善は、急がなければならない。

教育長

- ・これまで小中学校の統合を進めてきたが、「統合、大賛成」という地区はなかったと思う。
- ・統合に関して、全員が賛成するということはないが、本市の小中学校を適正な規模にしていくという大方針に基づいて丁寧に説明し、御理解をいただきながら15年かけて進めてきた。
- ・これまで統合された南原中学校、関根小学校、関小学校、三沢東部小学校、三沢西部小学校、そして第五中学校の子ども達についても、現在、元気に頑張っており、大規模校に來

て力を発揮しているという声も多く聞くので、この度の東成中学校の開校延期についてはとても残念に思っている。

- ・今回の市長のお話については、本市全体の方針として受け止め、これから教育委員会において、市立学校適正規模・適正配置等基本計画の見直しを行うべく、検討委員会を設置して、対応や説明について考えていきたい。
- ・学校は子どもが中心なので、懸念されるのは子どもの気持ちである。
- ・この度の開校延期を子ども達がどのように受け止めるかは、説明の仕方によると思う。今、市長からあった丁寧な説明が、子どもや地域、保護者の方にも伝わるような手立てが必要ではないかと思う。
- ・ここは市長の出番であり、お話の仕方等についても配慮いただきたい。
- ・来年度以降、南成中学校、北成中学校、そして第一中学校といった大規模校と第七中学校の小規模校1校となり、第七中学校の学級数はさらに減っていく。
- ・学級数が減るということは、教員数が減っていくということなので、交流事業を増やす、また、市独自で学習支援員や教育相談員を配置するなど、できる限りの対応をしていかないと「どうして第七中学校ばかり。」という不満が生じることになるので、財政的な事情はあるが、「統合は延期になったけれど、きちんと対応していただいた。」と思っていただけるようにしていかなければならない。
- ・具体的な対応については、これから検討していきたいと思うのでよろしく願いたい。

市長

- ・教育長の話のとおり、学習支援員の配置などについては、教育委員会からの提案を基に、できる限り対応していきたい。
- ・今、必要な中学校屋内運動場への空調設備設置は、スピード感をもって大至急やらなければならない。
- ・このことは、実際に屋内運動場で活動する生徒達にとって、歓迎される話であることは間違いない。
- ・第七中学校への配慮については、教育長の話のとおりなので、順次対応していくことになる。
- ・現時点で、学習支援員に関する予算は、来年度、計上される見込みであるか。

学校教育課長

- ・現時点において、来年度、第七中学校に対して特別な配慮を行うといった予定はない。

市長

- ・それは、第七中学校の来年度の人員については、大丈夫だと判断したということによいか。特別に配置するとすれば、再来年度以降ということになると考えてよいか。

学校教育課長

- ・そのように捉えていただいて構わない。

市長

- ・そのようなことで、来年度以降、第七中学校の職員の増員ということが俎上に挙がってくるということである。

- ・今後、開校延期に関する丁寧な説明と第七中学校への対応ということについては、今後、教育委員会内部でも議論していただければと思う。
- ・併せて、市立学校適正規模・適正配置等基本計画の見直しの議論を、本日、説明した方針に沿って進めていただきながら、市議会への報告、地域に対しての説明方法についても、今後、つめていくことになる。

教育長

- ・確認であるが、教育委員会として方針を変更したわけではないので、市長から直接、御本人の言葉で説明していただく場面が多くなると思う。その際は、よろしくお願ひしたい。

市長

- ・その際は、ぜひ私から説明させていただきたいと思う。
- ・説明の仕方については、本日、総務部長も出席しているが、教育委員会と市長事務部局とで協議をさせていただくということによろしいか。

教育長

- ・承知した。

(2)その他

市長

- ・第2期教育振興基本計画（案）のパブリック・コメントが実施されるということで、これまで策定業務に従事された職員には、たいへん御苦勞様であった。
- ・前回の総合教育会議でも議論をいただいた組織改編、観光文化スポーツ部の新設であるが、先の市議会12月定例会において、関係条例を承認いただいたので、新たな組織による業務が4月からスタートすることになる。
- ・本市の市長事務部局において、新しい部が設置されるのは平成5年の健康福祉部創設以来となる。
- ・教育委員会では、平成18年に教育管理部と教育指導部が設置されている。
- ・新たに観光文化スポーツ部を設置する目的は、さらなる交流人口、関係人口の拡大ということであるが、前回の総合教育会議において、委員の皆様から御意見をいただいた教育委員会との連携を図りながら進めてまいりたい。
- ・部活動の地域展開は、現在、学校教育課を中心に教育委員会で取り組んでいただいているが、中長期的な視点で見た場合、また、地域との関わりということを考えると、むしろ、市長事務部局のスポーツ主管課が、学校部活動担当の学校教育課と連携をしながら、対応していくことも考えられる。
- ・部活動を地域で担っていくということを考えなければならないので、このことも念頭に置きながら、新しい部を運営していかなければならない。

【5 閉会】

省略